2022 年度 音楽 II シラバス

芸術科「音楽Ⅱ」シラバス	学年(単位数)	第2学年(2単位)
	使用教科書	ON!2 音楽之友社
	担当者	新城 隆明

1、 目標

- ①生涯にわたり音楽に親しみ、音楽を通じて自己の人生を豊かにする。
- ②自ら音楽を学んでいくという意志を持ち、努力する。
- ③音楽を多角的にとらえ、その表現を探求し、さまざまな音楽について、その歴史的・文化的背景を捉え深く味わう。

2、 内容と学習方法

- (1)声や楽器を用いたさまざまなアンサンブルに取り組み発表する。
- ②独奏曲・ミュージカル・郷土の音楽など、代表的な音楽を鑑賞し味わう。
- ③世界のさまざまな声楽曲にふれ、「声と音楽」の多様性と奥深さを知る。

3、 履修上の注意点

- ①自分の音楽的視野を広げることが大切。自分の知っている曲、興味のあるジャンルをもとに、それらと他のジャンルの音楽とのつながりを見つけ、どのような音楽にもよさがあることをじっくりと探っていきたい。
- ②音楽の表現、特に「歌うこと」は、「話すこと」に近い人間の基本的な行為である。世界のさまざまな民族の多様な歌を歌い共通点や違いを感じ取ろう。

4、 学習計画及び評価方法等

	月	学 習 内 容	学 習 の ね ら い	備考
	4	オリエンテーション 楽しい歌声	・授業の心がまえを知る ・自己表現の練習	
1 学期	5 ~ 7	アンサンブルの選曲 個人・グループ練習 リハーサル 発表 1 学期のまとめ 鑑賞「ミュージカル」	・読譜力の向上・発表力の向上・表現力の向上・実技テストリハーサルを行う。・実技テストを発表形式で行う。	ヴォーカルor楽器を選択
2 学期	9 ~ 10 11 ~ 12	独唱に挑戦 練習 発表 自由演奏の選曲 (個人・グループ) 練習 リハーサル 発表 2学期のまとめ 鑑賞「沖縄の組踊り」	・読譜力の向上・発表力の向上・表現力の向上・実技テストリハーサルを行う。・実技テストを発表形式で行う。	音楽 I II で学んできた 集大成です。 大いに情熱を傾け、悔いのな い発表にしていきましょう。
3 学 期	1 ~ 3	総合研究「発表会」	・表現または鑑賞でテーマを設定し、個人またはグループで計画的に練習・研究し、 発表する。 ・担任を招待し、感謝の気持ちを込めて学習の成果を披露する。	音楽 I I で学んできた 集大成です。 大いに情熱を傾け、悔いのな い発表にしていきましょう

5、 評価方法

下記の3つの観点から評価した1学期、2学期、3学期の成績を総合し年間の学習成績とする。

	評価方法	
知識•技能	・基礎的基本的な知識を理解している。・音楽の雰囲気を感じ取りながら、自己のイメージと構造や文化的歴史的背景との関わりについて、理解している。・創意工夫の課程で様々に音楽表現を試しながら、その表現の意図を自ら活用できる技能を身につけている。	
思考力・判断力 表現力等	 ・音楽を形づくっている要素を知覚し、感受しながら関わりについて考えている。 ・音楽に対するイメージを膨らませ、表したい音楽表現について考え、どのように表現するかについて意図を持っている。 ・曲想を感じ取りながら、自己のイメージや感情を音楽的背景と関わらせて聴くことができる。 	・学習活動に対するする姿勢・グループ学習に取り組む態度・多様な表現活動・ワークシートの記入状況・筆記テスト・実技テスト
学びに向かう力 人間力等	 仲間との交流を通して各自の考えに気づきそれを共有している。 感じ取ったことに共感しながら、個々の学びを深め、音楽のよさや美しさを味わっている。 音楽と人々の生活に関心を持ち、それを自分の生活または社会に、生かし生涯にわたって音楽を愛おしむ感情を見いだしている。 	

6、 担当者より

- ・「自分の力で向上しようとする」ことが大切です。また、積極的に指導・助言を求めることも大切です。
- ・授業では、歌唱(独唱・合唱など)、器楽(キーボード・三線・リコーダー・ギターなど)の学習ができるようになっていますので、初めてでも また自信がなくても臆せずにチャレンジしていきましょう。
- ・演奏や創作した作品の発表、鑑賞した楽曲や演奏に対する自分なりの考えを述べるなど、プレゼンテーションの 力も身につけていきましょう。1年後成長した自分にきっと気づくはずです。